## 第3回フラフのある風景フォトコンテスト大賞決定

香美市ものづくり会議土佐山田フラフ分科会の企画する第３回フラフのある風景フォトコンテストが開催され、市内外から５８作品の応募がありました。香美市ものづくり大賞と１３の団体賞について審査が行われました。

大賞は土佐塾高校２年生の池愛莉さんに決定し、併せて大宮こども賞、ジェイアール四国バス賞も受賞しました。また、香美市商工会賞に選ばれた笹千賀子さん、龍河洞保存会賞に選ばれた太田和子さん、西山商会賞の笹泰典さんは、前回に続き２度目の入賞となりました。

７月１７日の表彰式で、大賞を受賞された池さんには、フラフの絵柄と表彰状が描かれた表彰旗が贈られ、会場ではミニフラフサイズの大きな布に転写された大賞作品が披露されました。受賞者の池さんは、「たくさんの賞を頂き驚きました。今回の受賞でフラフに興味がわきました。今度は染体験をしてみたいです」と喜んでいました。

受賞作品展を、集落活動センター美良布の交流スペースで8月末まで開催します。是非、ご覧になってください。

▲香美市ものづくり会議大賞受賞者　池愛莉さん（前列右から２人目）

### 受賞作品はこちら！

その他の受賞作品はHPをご覧ください。⇒

▲香美市ものづくり会議大賞『五月を駆け抜く』

▲龍河洞保存会賞『おつかれさん！また明日』

▲香美市商工会賞『五月晴れ』

▲三谷染工場賞『高ーく上がれ』





## 田植え体験

６月２３日、大宮小学校５年生２１名が、地元農家と保護者の協力のもと田植え作業の体験学習を行いました。

この学習は、地元農家で構成される本田集落協定が管理する農地を借りた『大宮小学童農園』の水田で、もち米の栽培から収穫までを体験することにより、農業の役割とその大切さを学び、食べ物に対する感謝の心を養うことを目的に行われている行事です。

地域の方も集まり、一緒になって田植えを行いました。児童たちは慣れない水田のなか、泥に足を取られて転げそうになったり、植えた苗の大きさがバラバラだったりと田植えの難しさを学んだようでした。今後は、稲の成長を見守り、９月に収穫を行う予定です。

## 第４２回高知県道場少年剣道大会

５月３日、第４２回高知県道場少年剣道大会が開催されました。

小学生団体戦の部で鏡野道場Ａ（竹崎莉夢さん、窪内一穂さん、今久保明奈さん）が準優勝、小学生女子個人戦の部で今久保明奈さんが優勝、窪内渚月さんが第三位に、竹崎莉夢さんがベスト８に入賞しました。中学生の部でも女子個人戦の部で恒石清香さんがベスト８に入賞しました。小学生団体戦の部決勝戦では、全てを出し切った両チームの選手達に大きな拍手が送られました。

団体準優勝した鏡野道場Ａは１月に大阪府で行われる全国大会に出場し、個人優勝した今久保さんは９月に島根県で行われる全国大会に出場します。

## 香美地区地域安全功労者表彰式

６月２４日、香美市役所で香美地区地域安全功労者表彰式が開かれました。

これは、警察、市町村、関係機関と連携しながら地域住民の安全を図るとともに地域安全活動に尽力された方への表彰です。

香美地区地域安全推進員８名、香美地区少年補導員１名が表彰されました。

## 高知県地球温暖化防止県民議会長表彰

５月１２日、高知会館で高知県地球温暖化防止県民議会が開催され、香美市が会長表彰を受けました。

これは地球温暖化防止対策の取り組みとして、海洋プラスチックごみの削減を目的としたフラフ柄マイバッグの作成や、県外企業と連携しクールチョイスの普及啓発のため、エコポリーボードゲーム、クールチョイスカレンダーを作成したことが評価されたものです。